

## 質問コーナー その4



Q1. 一度礼拝や集会に参加すると、抜けられなくなるのではないのでしょうか。

A1. 一度おいでになった方には、「またどうぞ」と声をかけますが、決して強制的なことはありません。

Q2. うちの子どもが月に一度「キッズ・チャペル」に参加して、おやつをもらったり、遊ばしてもらっていますが、大丈夫でしょうか。

A2. ご心配はいりません。教会に親しんでいただき、いじめ防止や思いやりの心が養われることを願って開いています。

Q3. 「目には目を、歯には歯を」という言葉をよく聞きますが、これって、「やられたら、やりかえせ」という意味ですか。

A3. これは旧約聖書に出てくる言葉ですが、人間は怒りのあまり何倍にも返しをする恐れがあるので、怒りの増幅を抑えるために旧約の時代に定めたものです。しかし、イエス・キリストは7度を70倍にするまで赦しなさい、と教えました。



おいしく♪ たのしく♪  
**キッズ・チャペル**

毎月第2水曜日 ごご 3:30~5:00



参加無料だよ

小学6年生  
までの  
遊び場所



おやつも  
あるよ!



## 神さまとの出会い その4

60代 女性（三木市）

私は、村の鎮守の神様が祭られた田舎で生れ、毎朝祖母と一緒に朝日を持ち、仏壇にご飯やお花を供える手伝いをして育ちました。

やがて看護師になり、結婚して神戸市垂水区に住んでいた時、知り合いから垂水教会を紹介され通うようになりました。1年後にキリストを信じて洗礼を受けました。その後、三木に引っ越し、三木栄光教会に通い、4人の子どもに恵まれ、忙しい中にも神さまに守られ感謝の日々を送っていました。

しかし、心の奥にはいつも重たいものがありました。主人との関係です。主人は子どもたちのことは大切に思ってくれ、よく気がつき、誠実な人ですが、典型的な九州男児です。気に入らない事があると暴言・暴力を振るうので、怖くて、何とか怒らせないようにと思いながらの日々でした。日曜礼拝に行く度に、仕事や主婦としての至らなさ等の罪が示され、神さまに赦していただいて、また新しい週を始めるというような生活でした。

結婚35年目に主人が食道がんになり、二人で教会に行き尾崎信子牧師夫人に祈っていただきました。先生から「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。驚いてはならない、わたしはあなたの神である。」との神さまの言葉で励ましていただき治療を受けました。この入院中、主人はベッドで信仰にまつわるCDを聞き、ゆっくりと考える時間が与えられたそうです。また私は、末娘と一緒に一生懸命に祈りながら、改めて主人の大切さに気づかされる機会となりました。幸い主人は癒やされ、今も元気になっています。

結婚から46年、この間、神様からいただいた恵みは数えきれません。今ではすっかり優しくなった主人と共に、これからの残された人生を、たとえいろいろな試練や悩みに合ったとしても、逃れる道も備えてくださっている神さまを信じ、感謝しつつ歩んで行きたいと思っています。

